

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課						
	作成責任者	山中 忠雄						
	事業名	JR福知山線複線化等促進事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 110101	決算付属資料 80	頁
	施策体系	施策コード 030201	施策名 利用しやすい鉄道機能を確保する					
	開始年度	昭和39年度						
	終了予定年度	平成30年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	-						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	JR福知山線(篠山口駅～福知山駅間)の複線化を早期に実現し、沿線地域経済の活性化及び鉄道網の拡充による利便性の向上を図り、住民福祉の向上を図る。				
	対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.0
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	委託先・実施主体等	福知山線複線化促進期成同盟会				
	事業概要	JR福知山線複線化の早期実現に向けて、JR福知山線沿線自治体(丹波市、丹波篠山市、三田市、福知山市)で構成する福知山線複線化促進期成同盟会を母体に、関係機関への要望や利用促進策・情報交換等を行う。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	旅費	JR本社・国土交通省への旅費等	135			
	負担金補助及び交付金	福知山線複線化促進期成同盟会等への負担金	131			
	需用費	JR下夜久野駅修繕	45			
	役務費	JR下夜久野駅連絡通路コーキング調整	49			
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	323	323	347	0	
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 15	△ 45	13		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越						
次年度繰越						
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	308	278	360	0	0
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.12/0	0.12 / 0	0.13 / 0	/ 0		
⑤概算人件費	960	960	1,040	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,268	1,238	1,400	0		
⑦執行額	308	278	360			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%			

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	JR福知山市内駅平均乗客数	人/日	4,458/4,466	4,467/4,495
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	要望採択数	件/年	2/13	3/14	3/10	/	14
	要望活動実施回数	回/年	2/3	3/3	3/3	/	3
	単位あたりコスト		154.0	92.7	120.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	複線化や利便向上のための施設整備には乗客数の増加が絶対条件であり、すぐに成果として結びつくものではないが、継続的に取り組んでいく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	沿線地域と連携し、一体となって要望活動、利用促進活動を展開することによりスケールメリットが生まれ、有効かつ効率的に取り組むことができている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	沿線地域と連携し、一体となって要望活動、利用促進活動を展開することによりスケールメリットが生まれ、有効かつ効率的に取り組むことができている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		関係自治体が連携することで、様々な要望活動・利用促進への取組がより効果的となる。	
今後の課題及び方向性		令和元年度より、本事業を関係事業である鉄道利用促進事業に統合し、その中で、引き続き沿線関係自治体等と連携を維持し、要望活動を継続的に行いながら同時に利用促進活動も実施し、沿線の開発及び住民福祉の向上を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課									
	作成責任者	山中 忠雄									
	事業名	丹鉄利用促進事業									
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 110103	決算付属資料 80	頁			
	施策体系	施策コード 030201	施策名	利用しやすい鉄道機能を確保する							
	開始年度	平成3年度									
	終了予定年度	平成30年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都丹後鉄道大江駅の集改札業務を委託することにより、特急列車の停車に対応する。あわせて階段昇降機の運営を委託する。京都丹後鉄道沿線自治体等で組織する「京都丹後鉄道利用促進協議会」の分担金を負担し、沿線住民のマイレール意識の高揚と利用促進のための広報宣伝活動を推進する。										
	対象者	京都丹後鉄道福知山市内駅乗客	対象者数	465,915	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等	大江観光株式会社・京都丹後鉄道利用促進協議会										
	事業概要	京都丹後鉄道大江駅集改札業務 京都丹後鉄道大江駅階段昇降機運営委託 京都丹後鉄道利用促進協議会への分担金負担及び利用促進事業の実施										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		委託料	大江駅集改札及び階段昇降機の運転							3,024		
負担金補助及び交付金		京都丹後鉄道利用促進協議会分担金、京都丹後鉄道への災害支援補助金							5,488			
旅費		京都丹後鉄道利用促進協議会出席旅費等							47			
役務費		大江駅階段昇降機保険料							4			
使用料及び賃借料	高速道路通行料(丹後鉄道首長会議)							2				
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	2,492	2,492	3,274	0	
	②補正予算			5,338		
	③流充用額	△ 137	942	△ 47		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	2,355	3,434	8,565	0	0
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.09/0	0.09 / 0	0.11 / 0	/ 0		
⑤概算人件費	720	720	880	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,075	4,154	9,445	0		
⑦執行額	2,355	3,434	8,565			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%			

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			実績	実績	実績	目標	
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	丹鉄福知山市内駅平均乗客数	人/日	1,425/1,532	1,384/1,542	1,276/1,572	/	1,572
	大江駅平均乗客数	人/日	95/102	73/81	81/83	/	83
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	京都丹後鉄道利用促進協議会会議開催数	回/年	3/3	3/3	3/3	/	3
	単位あたりコスト		785.0	1,144.7	2,855.0		
	丹鉄福知山市内駅平均乗客数	人/日	1,425/1,532	1,384/1,542	1,276/1,572	/	1,572
	単位あたりコスト		1.7	2.5	6.7		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	丹鉄沿線住民の貴重な移動手段としてなくてはならない路線であり、その路線維持のために市が積極的に取り組む必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	大江駅での特急列車の停車に対応するためには、当駅での集改札業務が必要であり、大江駅に事務所がある大江観光(株)に業務を委託し、効率化を図っている。本市の観光などの経済活性化にはなくてはならない業務である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	丹鉄の乗客数が増加しているが、継続して事業を行い、乗客数の増加を目指していく。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		丹鉄乗客数は目標を下回っているが、継続して事業を行い、沿線住民にマイレール意識の高揚と利用促進の広報宣伝活動を実施する必要がある。平成30年度は7月豪雨災害の関係でWILLER TRAINSに臨時支援補助金を交付している	
今後の課題及び方向性		令和元年度より、本事業を関係事業である鉄道利用促進事業に統合し、その中で、引き続き丹鉄の利用促進事業に取り組んでいく。平成27年4月から上下分離方式により、WILLER TRAINS(株)が京都丹後鉄道として運行主体となっている。民間企業のノウハウやバス事業で培った運行実績などを活かしながら、協力して持続可能な公共交通を目指し、利用促進を図っていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課									
	作成責任者	山中 忠雄									
	事業名	KTR支援事業									
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 110106	決算付属資料 80・82	頁			
	施策体系	施策コード 030201	施策名	利用しやすい鉄道機能を確保する							
	開始年度	平成8年度									
	終了予定年度	令和2年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の貴重な移動手段を守り、また、域外からの誘客による地域経済の活性化を図るため、沿線自治体等と連携し、京都丹後鉄道の安心で安全な運行を確保するとともに、安定した経営を支援し、KTRの健全経営を推進する。									
	対象者	京都丹後鉄道利用者(年度)	対象者数	1,526,167	単位あたりコスト	0.1					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等	北近畿タンゴ鉄道株式会社									
	事業概要	KTRの経営の安定化や、施設の維持管理による安全で安心な公共交通として運行するため、さらに災害復旧に必要な経費等に対し財政支援を行う。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費				
	KTRへの補助金	KTRへの経営支援					130,155				
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	131,368	147,662	126,010	139,463	152,393				
	②補正予算			11,181						
	③流充用額	△ 4,370	11,661	△ 1,796						
	④繰越額計	16,418	△ 11,661	480	11,181	0				
前年度繰越		0	11,661	11,181						
	次年度繰越		△ 11,661	△ 11,181	0					
予算と執行の状況 (財源内訳①④⑥内訳)	一般財源	60,822	0	893	11,597	0				
	国支出金	16,418	0	0	0					
	府支出金	0	0	0	0					
	地方債	23,000	43,000	26,600	24,100	47,400				
	その他特財	43,176	104,662	108,382	114,947	104,993				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	KTR支援事業基金繰入(地域振興基金)		種類	基金繰入金	実績金額	63,055	決算付属資料	34	頁
	特財名称	KTR支援事業基金繰入(過疎地域自立促進基金)		種類	基金繰入金	実績金額	42,631	決算付属資料	36	頁
人件費	0.55/0	0.55 / 0	0.61 / 0	0.61 / 0						
⑤概算人件費	4,400	4,400	4,880	4,880						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	147,816	152,062	140,755	155,524						
⑦執行額	136,943	144,436	130,155							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	95.5%	97.8%	95.8%	0.0%						

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	丹鉄福知山市内駅平均乗客数	人/日	1,425/1,532	
	丹後鉄道全体平均乗客数	人/日	4,948/5,320	4,826/5,355	4,181/5,355	/ 5,407	5,460
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	京都丹後鉄道利用促進協議会会議開催数	回/年	3/3	3/3	3/3	/ 3	3
	単位あたりコスト		45,647.7	48,145.3	43,385.0		
	丹後鉄道全体平均乗客数	人/日	4,948/5,320	4,826/5,355	4,181/5,355	/ 5,407	5,460
	単位あたりコスト		27.7	29.9	31.1		

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民の貴重な交通手段として、また、福知山駅を中心としたまちづくりや経済活動活性化のためになくてはならない路線である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	経営支援を行うことで鉄道の安全な運行が確保され、利用者の利便性向上が図られる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	事業費のインセンティブが働くよう、先行的な支援を行い経営改善につながる取組を推進していく必要がある。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	京都丹後鉄道は沿線地域の人々の貴重な移動手段であり、京都府北部地域の振興と本市の都市機能に欠かせない交通基盤である。この交通基盤を維持し、地域の活力向上につなげるため、府や関係市町と連携し継続してKTRに支援を行う。		
今後の課題及び方向性	平成27年4月から上下分離方式による再構築を行い、基盤保有会社〔北近畿タンゴ鉄道(株)(KTR)〕と運行会社〔WILLER TRAINS(株)〕による事業展開を行っている。 京都府をはじめ、沿線自治体と連携して、安全運行に必要な基盤を維持し、沿線地域の活性化と交流の拡大を促進するために引き続きKTRに支援を行う。		

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内 容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	京都丹後鉄道は沿線地域の人々の貴重な移動手段であり、京都府北部地域の振興と本市の都市機能に欠かせない交通基盤である。この交通基盤を維持し、地域の活力向上につなげるため、府や関係市町と連携し継続してKTRに支援を行う。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課						
	作成責任者	山中 忠雄						
	事業名	丹鉄関連施設管理事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 110108	決算付属資料 82	頁
	施策体系	施策コード 030201	施策名 利用しやすい鉄道機能を確保する					
	開始年度	昭和63年度						
	終了予定年度	平成30年度						
	関連計画等	-						
	根拠法令等	-						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都丹後鉄道宮福線の駅前広場の清掃・維持管理を委託し、利用環境の維持・改善を図ることによりさらなる利用促進を図る。				
	対象者	京都丹後鉄道福知山市内駅の乗客	対象者数	465,915	単位あたりコスト	0.0
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	委託先・実施主体等	牧自治会他				
	事業概要	京都丹後鉄道市内駅の駅前広場の清掃等、維持管理に要する経費。 該当駅(8駅):福知山市民病院口、荒河かしの木台、牧、下天津、公庄、大江高校前、二俣、大江山口内宮駅				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費		
	委託料	駅前広場清掃業務(5駅分)	478			
	役務費	下天津駅前広場災害による土砂集積手数料他	230			
	需用費	光熱水費	259			
	関連事業					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	899	899	877	0	
		②補正予算			0		
		③流充用額	△ 27	160	90		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
		前年度繰越		0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	872	1,042	967	0	0
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	17	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.17/0	0.17 / 0	0.15 / 0	/ 0		
⑤概算人件費	1,360	1,360	1,200	0			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,232	2,419	2,167	0			
⑦執行額	872	1,059	966				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	99.9%				

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		丹鉄福知山市内駅平均乗客数	人/日	1,425/1,532	1,383/1,542	1,276/1,572	/	1,572
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		駅前広場清掃回数(5か所)	回/年	120/120	120/120	120/120	/	120
		単位あたりコスト		7.3	8.8	8.1		
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	環境改善を通じてマイレール意識の醸成を図ることができる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	地域住民に管理委託することできめ細かな対応ができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	丹鉄を気持ちよく利用していただくためにも継続して事業を行う。成果、活動実績だけで評価する事業ではない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	地域の貴重な公共交通機関である京都丹後鉄道駅前広場の環境改善を図ることで利用促進を図るとともに、地域組織等に管理を委託し業務に従事していただくことで地域の駅として愛着を持ってもらう。		
今後の課題及び方向性	令和元年度より、本事業を関係事業である鉄道利用促進事業に統合し、その中で、引き続き駅前広場の環境改善を実施し、地域住民のマイレール意識醸成を図る。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課												
	作成責任者	清水 俊行												
	事業名	駅周辺公共施設管理事業												
	会計情報	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費	会計	一般会計	事業コード	110184	決算付属資料	196	頁
	施策体系	施策コード	030201	施策名	利用しやすい鉄道機能を確保する									
	開始年度	平成22年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山駅を利用する通勤者・通学者、福知山駅周辺への買い物客、福知山駅への送迎者の利便性を向上させるとともに、不法駐輪及び不法駐車を抑止し、歩行者等の安全確保、良好な都市空間の形成を図る。										
	対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.5						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等	有限会社京都事務機販売 等										
	事業概要	福知山市自転車等駐車場及び福知山市駅前広場について、指定管理者制度による管理運営の委託を実施している。市営福知山駅東西駐輪場、福知山駅南北広場駐車場が主な施設である。そのほか福知山駅南北広場バス・タクシー待機場、福知山駅南北公衆トイレを管理している。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		需用費	消耗品費、施設修繕 等							124		
役務費		災害共済分担金							25			
委託料		駅前広場及び駐輪場等指定管理業務							35,427			
工事請負費		市営福知山駅駐輪場ラック入替工事							4,334			
関連事業	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	41,690	43,526	41,351	42,775	49,881			
	②補正予算			0					
	③流充用額	1,546	△ 2	△ 1,275					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越		0	0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0				
財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	22,649	19,271	14,328	15,996	28,176			
	国支出金	0	0	0	0				
	府支出金	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	その他特財	20,587	24,253	25,748	26,779	21,705			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	駅東駐輪場使用料	種類	使用料	実績金額	11,557	決算付属資料	10	頁
	特財名称	駅周辺公共施設管理事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	4,334	決算付属資料	36	頁
人件費	1.4/0	1 / 0	0.34 / 0	0.34 / 0					
⑤概算人件費	11,200	8,000	2,720	2,720					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	54,436	51,524	42,796	45,495					
⑦執行額	39,352	40,721	39,910	0					
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	91.0%	93.6%	99.6%	0.0%					

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	実質赤字額(使用料収入額-執行額)	千円	-18637	-16180
	駐輪場稼働率	%	54	58	60	/ 60	60
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	駐輪場使用料	千円	13055	12560	13066	/ 14000	14000
	単位あたりコスト		3.0	3.2	3.1		
	駐輪場総利用台数	台	269005	278130	285078	/ 290000	290000
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1		

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	福知山市の玄関口である福知山駅の利用者及び駅前の商業施設等の利用者の利便性の向上に必要である。特に、駐輪場については、定期利用者の大半を占める通勤・通学者の必要不可欠な施設となっている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	施設の管理運営について、指定管理者制度を活用し、人件費等の経費節減を図っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	福知山駅周辺の利便性向上及び活性化に大きく寄与している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		駐輪場の利用台数及び使用料が増加するとともに、指定管理料を抑制することで、実質赤字額を削減することができている。	
今後の課題及び方向性		駐輪場及び駐車場の更なる利用促進を図り、駅周辺のにぎわいに貢献する。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内 容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成29年から平成31年の3ヶ年度にかけて行ってきた駐輪場ラック入替工事が完了したため、令和2年度は当該予算は皆減となる。 一方、キャッシュレスリーダーの取り付けに係る予算は皆増となり、要求予算全体としては増額となる。
予算への 反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課									
	作成責任者	山中 忠雄									
	事業名	鉄道利用促進事業									
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 120114	決算付属資料 82	頁			
	施策体系	施策コード 030201	施策名	利用しやすい鉄道機能を確保する							
	開始年度	昭和61年度									
	終了予定年度	令和2年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	JR・丹鉄の利用に対する補助事業の実施や啓発事業を行うことで、鉄道の利用促進を図る。									
	対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等	福知山市鉄道利用増進協議会									
	事業概要	福知山市鉄道利用増進協議会に補助金を交付し、利用促進のための事業を実施する。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費							
	負担金補助及び交付金	福知山市鉄道利用増進協議会への補助金	420								
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	800	420	420	5,481	18,336
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越			0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	800	420	420	5,481	18,336
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
その他特財	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.35/0	0.35 / 0	0.16 / 0	0.16 / 0		
⑤概算人件費	2,800	2,800	1,280	1,280		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,600	3,220	1,700	6,761		
⑦執行額	800	420	420			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	教育機関補助利用件数	件	69/65	72/65	48/65
	企画旅行補助利用件数	件	3/5	4/5	2/5	/ 5	5	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
			協議会への補助金	千円	800/800	420/800	420/800	/ 800
		単位あたりコスト		1.0	1.0	1.0		
				/	/	/	/	
	単位あたりコスト							

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	鉄道網の整備・拡充による福知山駅を中心とした中心市街地活性化や沿線住民の貴重な移動手段である公共交通を維持していくために必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	教育機関利用団体補助については毎年多くの利用があり、利用増進に一定の成果があった。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	教育機関・企画旅行補助により利用促進と鉄道網の維持に取り組む。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	教育機関利用補助、鉄道利用企画旅行補助とも前年度の件数を下回った。鉄道利用補助の要綱改正を行い、あらゆる団体に幅広く利用していただける制度とするため、令和元年度は市内の小学校、中学校、高等学校、保育園及び幼稚園に改めて周知を行う。		
今後の課題及び方向性	令和元年度より、関係事業であるJR福知山複線化等促進事業、丹鉄利用促進事業、丹鉄関連施設管理事業を本事業に統合し、効率的に各事業を実施していく。			

	所見
庁内及び外部による評価 (行革担当課記入)	
三次評価 (外部評価) (行革担当課記入)	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	今後も引き続き、沿線市町と協調して丹鉄・JRの利用促進を進めていく。 なお、令和2年度はJR下夜久野駅の連絡通路改修工事に伴い予算増額となっている。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充
		担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】